

みやまの風

令和7年6月2日(月)発行 園長 津田 将美



寄幼稚園の
アクセスカ
ウンタが、つ
いに **1000**
を越えまし
た。皆様のご
協力に感謝
します。



寄 松田

さよなら カエルさん

「おたまじゅくしが、カエルになったんだよ。」

うれしそうに報告してくれた子といっしょに、カエルさんを見に行きました。なるほど、ほとんどのおたまじゅくしに足がはえ、しっぽがなくなっています。カエルになっているものが多くいました。後で聞いたことですが、今年は、おたまじゅくしさんは全員無事に成人したそうです。

昨年度、大量のおたまじゅくしを捕まえてきて大喜びだった子どもたち。でも、一生懸命お世話をしたのに死んでしまうおたまじゅくしが出てくる現実に直面しました。子どもたちが出した結論は、

「川に返しに行く」

ということでした。

その経験値が活かされたのだと思います。今年度は捕まえる数を気にしたり、お世話の方法を工夫したりしたのでしょう。その結果、おたまじゅくしさんは健やかに成長し、カエルさんとなりました。このような試行錯誤、創意工夫は幼稚園の生活で毎日繰り返されていることです。しかし、今回のような活動が他の活動と大きく違うことは、

「そこに命がある」

ということです。

経験値を積んだ子どもたちは考えました。

カエルになったら、えさは何かな…?

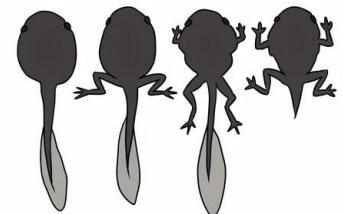
どうやってお世話をしたらいいのかな…?

いろいろ調べた結果、「生きた虫を食べる」ということを知った子どもたちは、この後どうしたらいいか相談しました。

「食べ物がないと死んじゃうよ。」「お母さんと離れ離れはかわいそう…」

相談の結果、自然と川に返すことが決まりました。

命と向き合うことで、自分や他の命を大切にする心が育っていることを感じます。



学校（幼稚園）評議員会

5月15日に、今年度第一回目の評議員会が開催されました。幼稚園の運営について提案し、検討後、園での保育の様子を参観していただきました。いただいた主なご意見は、以下の通りです。

- ・地域の環境を活かすという観点で、藍染め等に取り組むことはとてもいい。サークル等あるので、協力できることがあったら、していきたい。
- ・家庭でのお出かけより幼稚園がいいとのエピソード、とても感心した。子どもの気持ちを尊重する家庭の姿勢もすばらしいと感じた。
- ・家庭の姿勢や家庭での生活が、幼稚園での前向きな生活につながっていると感じる。
- ・体操教室での交流を寄で行うとの取り組み、大切にしてほしい。いつもお客様より、貴重な体験になると思う。

会議の後には給食を子どもたちと一緒に食べていただきました。その後の保育にも参加していただき、子どもたちとのあたたかくほのぼのとした交流がありました。

いただいたご意見を今後の園運営に活かしていきます。